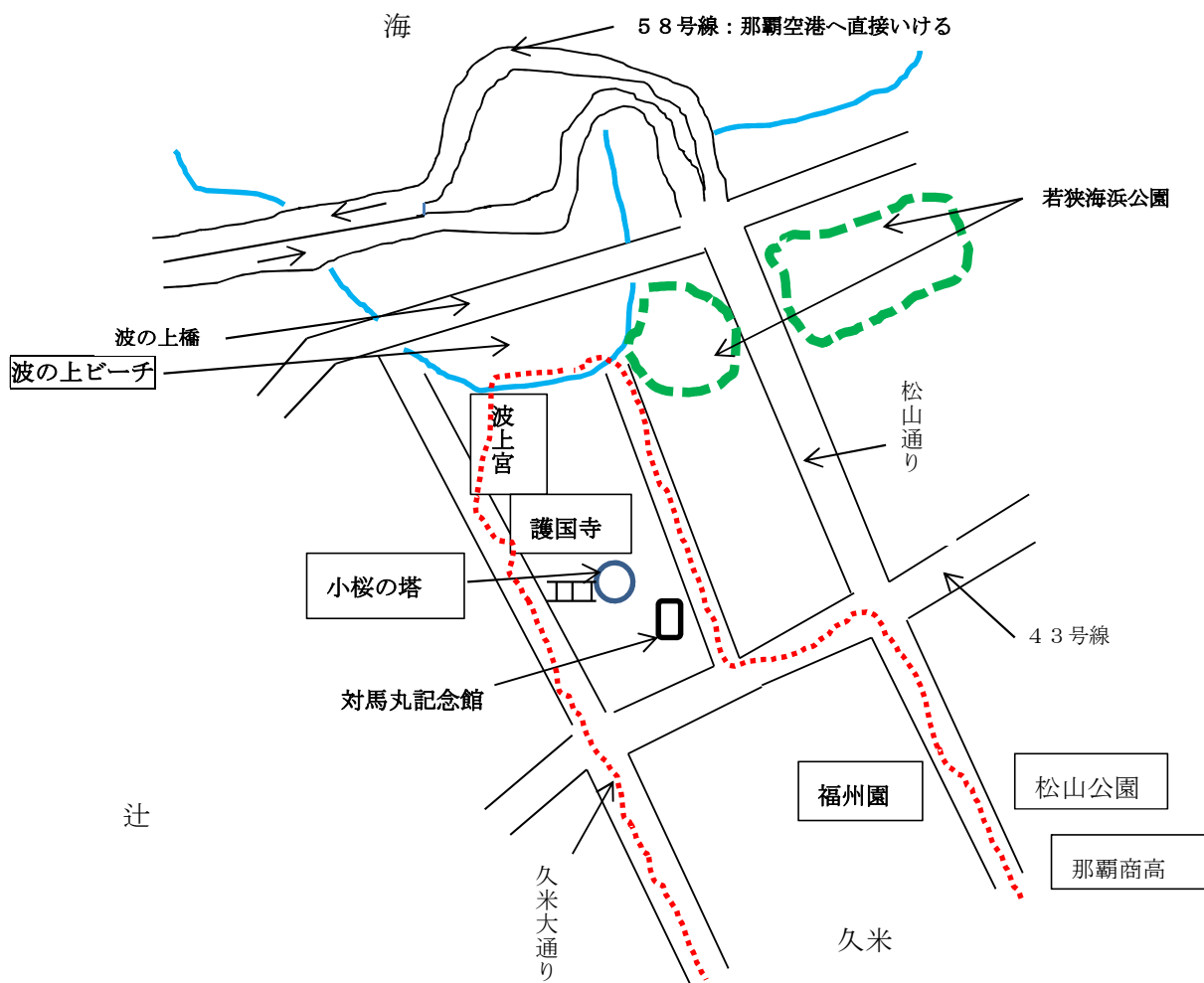


- 波の上ビーチ (那覇市若狭1丁目)
- 波上宮 (なみのうえぐう: 那覇市若狭1丁目 25-11)
- 波上山 護国寺 (那覇市若狭1丁目 25-5)
- 小桜の塔 (那覇市若狭1丁目 26-5)
- 福州園 (那覇市久米2丁目 29-19)



波の上ビーチ

沖縄随一の都市である那覇市は沿岸部に空港や港湾があり遊泳するビーチがないように思われるが、人工的な“波の上ビーチ”があり、人気を博している。



波上宮

歴史書で創建年が明らかにされている神社は、1451年の長寿宮（浮島神社）、1466年の安里八幡宮などがあるということで、波上宮は15世紀（1401～1500年）頃には創建されていたとのことである。琉球八社（波上宮、沖宮、末吉宮、安里八幡宮、識名宮、普天満宮、金武宮）は王府が管理していた官社で、1879年の王府解体以降は明治政府が管理し。戦後は国家から分離し、宗教法人となっている。

（参考資料）

<https://feeljapan.net/okinawa/article/2020-01-07-10672/>



波上山 護国寺

護国寺は那覇市若狭にある高野山真言宗の寺院である。1940（昭和 15）年、内務省令第 407 号を以て指定護国神社となっており、現存する沖縄の寺院のうち最も古い寺院である。

（参考資料）

<https://www.naha-contentsdb.jp/spot/697>

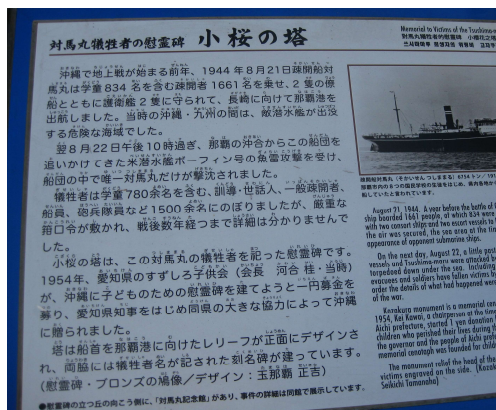


小桜の塔

1944（昭和 19）年 8 月 22 日夜半、学童疎開船対馬丸は米潜水艦の魚雷攻撃を受けて、悪石島沖で轟沈し、学童・付添人 1484 人の犠牲者があった。これらの方々の“みたま”を弔い慰め、世界の恒久平和を念ずるために多くの人々の善意で、小桜の塔が建立されたとのことであった。

（参考資料）

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/virtual/memorialsite/okinawa_naha_004/index.html



福州園

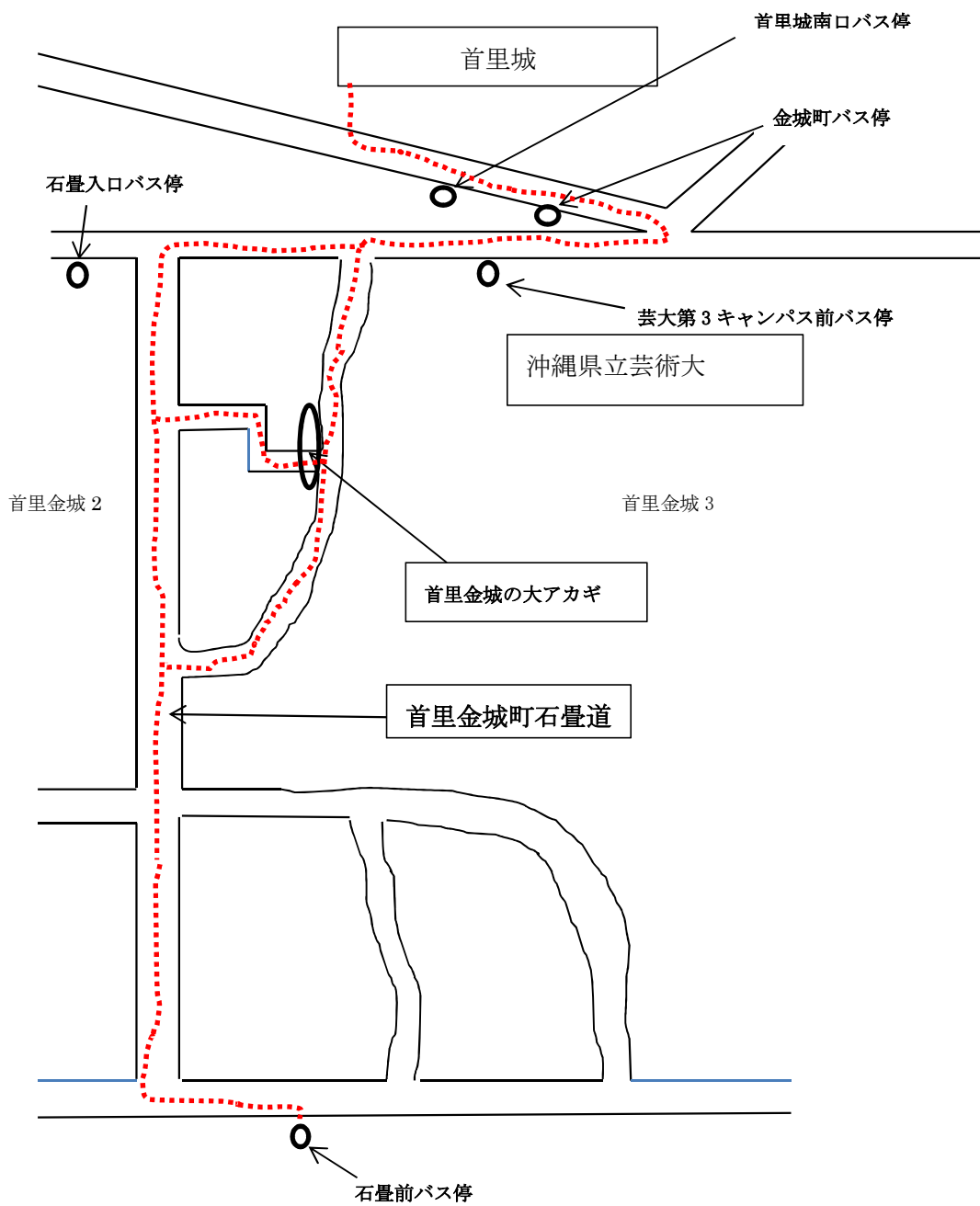
福州園は中国福建省福州市と那覇市の友好都市締結 10 周年と、那覇市市制 70 周年を記念して、1992（平成 4）年に完成している。園内は中国の雄大な自然と福州の名勝をイメージして造られてるとのことである。福州園のある那覇市久米は、今から 600 年ほど前に福建省から移住してきた人たちが住み始めたところといわれており、中国とのゆかりの深い場所とのことである。

（参考資料）

<https://www.okinawastory.jp/spot/20230300>

首里金城町石畳道（那覇市首里金城町 2-35 付近）

首里金城町の大アカギ（那覇市首里金城町 3 丁目付近）



首里金城町石畳道

金城町石畳道は長さ 300m あり、琉球石灰岩が敷かれた石畳道（「あいかた積みの道」）で首里城から続いているとのことである。尚真王（しょうしんおう）の時代(1477~1526)に首里城から南部へ行く道として造られたとのことである。戦争で一部なくなり 300m の石畳道となったとのこと、両脇に沖縄の古民家が建つ場所となっている。2001 年度上半期に放送された NHK の連続テレビ小説「ちゅらさん」でもロケ地の一つとして有名である。毎年 11 月の初旬に開催されている首里城祭の行列もここを通る。

(参考資料)

<https://www.odnsym.com/spot/kinisidatami.html>





首里金城町の大アカギ

首里城跡の南で首里金城町石畳近くの内金城嶽境内（ウチカナグスクタキけいだい）に推定樹齢 200 年以上と思われるアカギの大木が 5 本自生している。幹の高さは約 20m。アカギは沖縄県内では普通に見られる樹木だが、このような大木群が住宅地に見られるのは内金城嶽境内のみとのことである。

(参考資料)

<https://www.naha-contentsdb.jp/spot/578>



